

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 コペルプラス ユーカリが丘教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・個別療育なので、適切だ。	個別療育が主のため、お子様が落ち着いて療育を行える認可基準以上のスペースを確保しております。
	② 職員の配置数は適切である	2	3	・基準を満たしており、適切だ。 ・基本個別療育なので適切ではあるが、個別であっても場合によって補助を付けたいことがあり、集団療育時の補助要員を考えると、人員が増える とよりよい。	個別療育が主のため、1対1以上の人員で対応しております。認可基準を遵守しております。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・エントランスで靴を脱ぐ場所には靴のマークを貼り、段差無くホールに上がるためのスロープにはイラストで表示している。	お部屋の扉が見渡せるようなレイアウトで、エントランスから段差がないようスロープにしております。色調を白で統一させることにより、情報過多にならないよう気をつけております。お子様が少し眩しそうにされた場合は、照明を10段階で調整することができます。

	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・1日2回の清掃と、療育後の消毒等を行っている。	次亜塩素酸空間除菌脱臭機を始めとする、ウイルス対策用機器を各種取り入れております。また、1日2回の清掃に加えて、こまめな換気、人が触れた場所のアルコール消毒、加湿器やエアコンのフィルターの清掃等、適宜行っております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・療育に入る時には前回の記録を振り返ったり、常に目標を確認して入って結果どうだったかを常に報告しあつたりと、指導員間で情報共有している。	療育毎に目標の確認と振り返りを行うだけでなく、職員間の連携も丁寧に行っております。次回の療育までに用意すべき教材がある場合は、準備して臨みます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・毎回のフィードバックの他、保護者様からのご相談やご意向を伺い、改善につなげている。	保護者様から評価表を通してご評価頂き、感謝しております。今年も、お忙しい中、たくさんの方にご評価頂き有り難く受け止めると共に、改善すべき点に関しましては丁寧に向き合っており参ります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		評価表を通してしっかりと自己評価を行い、改善に努めております。評価表に関しましては、コペルプラスのホームページに評価結果を公開しております。本年もホームページでの公開を予定しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現在、第三者による外部評価は行ってはおりません。今後、必要に応じて検討して参ります。

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		職員のスキルアップを図るために、該当者が様々な研修を受講し、内容を共有しております。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約前に必ずアセスメントを行ってから、支援計画を作成している。 ・ 体験を担当した指導員とは別の指導員がアセスメントを担当することで、複数の視点でお子様を分析するように心掛けている。 	療育において丁寧なアセスメントが不可欠と感じ、その上で児童発達支援計画を作成しております。その後の半年毎のモニタリングのみならず、療育は毎回担当を変えて複数の視点で行っていることから、常に振り返りと改善を繰り返しております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準化されたアセスメント教材を用いて、発達段階を確認している。 	株式会社コペルのアセスメントツール「発達段階観察シート」を使用しております。標準化されたツールを使用することで様々なことが見えてきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントやモニタリングで保護者の方と、どのような発達支援をすべきかお話をし、目標を定めている。 	児童発達支援計画は必ず児童発達支援ガイドラインに基づいて作成し、保護者様からご自宅や日中、主に活動している場（保育園・幼稚園）での様子も伺い、一緒に支援内容を設定しております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 療育に入る前には個別支援計画の目標に合わせて準備をし、レッスン後はその結果を記録し、次につなげている。 	児童発達支援計画に沿った支援を行うために、毎回、適切な教材を用いるよう心掛け、その内容を記

					録し、次回の支援につなげております。今後も児童発達支援計画に沿った支援を行って参ります。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・カンファレンスにおいて皆で話し合い、支援方針や内容を決めている。	児童発達支援計画はチームで立案し、活動プログラムは療育を担当した指導員を中心に、次の療育に付加すべき点や改善点、注意すべき点は何か、常に検討しております。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・担当の指導員が毎回変わるので、指導員によって教材の提示の仕方やアプローチの方法を変える工夫をしている。	基本プログラム以外は毎月教材が変わります。週毎にも内容を変えたりスモールステップで提供したりしております。また、個別の支援を強化するために、どのような教材が適しているのか、常に職員間で話し合っ工夫しております。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	・個別療育の時でも、粗大運動はなるべく集団で行うようにしている。	個別療育を主に行っておりますが、粗大運動は同枠のお子様と行うなど、社会性の向上に努めております。また、お子様の発達段階や支援目標に応じて、コミュニケーショントレーニングや小集団（最大6名）へのご参加も促しております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・朝礼でその日の予定と注意事項、引継ぎ事項を全体で確認している。 ・個別支援内容に沿うよう、職員各々がその日の支援内容を確認してから療育を行っている。	前回の支援内容を確認し、前回の担当者に相談し、その日の療育に付加すべきことや注意すべきことは何かを明確にします。必要な教材を揃え、しっかり準備してから療育に臨むよう努めております。

					集団療育の場合は、各役割を確認してから行っております。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・支援終了後に記録を書くことにより、情報の共有を行っている。急を要する内容に関しては、療育の合間などの時間も使い、情報共有している。	準備した支援策に対してお子様がどのように反応したのかを丁寧に振り返り、次回につなげることを明確にし、記録します。お子様のご様子は毎回異なるため、小さな気づきが重要だと考え、必ず職員間で共有しております。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・療育後、次回の療育に活かせるよう記録している。	弊所ではなるべく多くの指導員が関わり、お子様を観察するようにしております。担当する指導員が毎回異なることにはなりますが、丁寧に記録を残し、次へしっかりと引き継ぐことで、指導員ごとの特長を活かした多面的な支援となるよう心掛けております。今後も丁寧に記録を残して日々の療育に活かし、次のモニタリング時の検証や改善にも活かせるよう努めて参ります。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・モニタリングの前後には必ずカンファレンスも行い、その内容を個別支援計画に反映させている。	保護者様にはお忙しい中、半年に1度、必ずモニタリングにご協力頂いております。ご自宅や、日中に主に活動している場（保育園・幼稚園）での様子を丁寧にお教え頂き感謝しております。伺った内容に基づいて、児童発達支援計画を見直しております。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		サービス担当者会議の前には全員でカンファレンスを行い、お子様の状況を取りまとめた者が参画するようにしております。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	・市の福祉連絡協議会に定期的に参加している。	関係機関の皆様には、いつもご助言を頂き、感謝しております。これからも必要に応じて連携して参ります。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	・現在、医療的ケアを必要とするお子様はいらっしゃらない。	現在、医療的ケアが必要なお子様はいらっしゃいませんが、保護者様と常に、お子様の状況やケア内容を確認するよう努めております。また必要に応じて関係機関と連携するよう心掛けております。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	・契約書には必ず主治医を書いている。	ご契約時には主治医を明記して頂き、必要に応じて主治医や協力医療機関等と連携できるような体制を整えております。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0		お子様が日中過ごされている場(保育所、幼稚園など)との情報共有を積極的に行っております。希望される方はぜひ、ご相談下さい。

②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	・まだ移行支援を行ったことがない。	小学校や特別支援学校への移行時に、情報共有を行うことができます。希望される方はぜひ、ご相談下さい。
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・他事業所を併用されているお子様について、連携をとることがある。	専門機関の皆様には、いつもご助言を頂き、感謝しております。これからも積極的に研修を受けさせていただきます。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		通所者様の多くが、発達に関する支援センターを利用されていたり、保育所や幼稚園等に通われていたりするため、こちらでは1対1の個別療育に重点を置いて頂いております。
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	・佐倉市の協議会に代表者が定期的に参加している。	佐倉市主催の協議会には積極的に参加し、学ばせて頂いております。大変有意義な場だと感じております。
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・フィードバックの際、お声掛けをして、お話していただきやすいように心がけている。	療育中に気付いたことは全て、フィードバックの時間に保護者様へ伝えております。また保護者様からは最近のお子様のご様子等を伺い、職員間でしっかりと共有しております。内容に応じて、相談支援を行っております。

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	5	・まだ取り組めていない。	今後、ペアレントトレーニングを行う予定です。生活の中で起こりうる事例を取り上げて話し合ったり、悩んでいることをみんなで共有して一緒に考えたりできる内容にする予定です。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		ご契約時、そして必要に応じて、今後も丁寧に説明して参ります。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		ご契約時やモニタリング時にねらいや支援内容を丁寧に説明し、必ずご同意を頂いております。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		療育中やフィードバック時にご相談にのっておりますが、じっくりご相談なさいたい場合は場所を相談室に改めたり日を改めたりと、丁寧に対応するよう心掛けております。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		今年度は新型コロナウイルスなどの感染症を考慮し、保護者会は開催しておりませんが、必要に応じて同じ固定枠の方同士、年長の保護者様同士をお繋ぎしております。

③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	保護者様からご相談された内容は、職員全員で共有し、対応策を話し合っている。次に担当する指導員がその案を用いて対応している。	療育中やフィードバック中に丁寧に対応するよう心掛けておりますが、ご相談内容によってはお調べしたり新しい教材を用意したりした方がいい場合もございます。時には、試行錯誤することもございますが、ご相談内容が気にならなくなるまで支援させて頂いております。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		LINE を活用して、随時、教室の運営面のこと、受給者証のこと、レッスンの空き情報等を発信しております。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・個人ファイルは鍵付きの書庫に保管している。	個人情報の取り扱いには厳重に注意を払っております。今後も細心の注意を払って参ります。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		フィードバックは必ず療育を行った部屋で扉を閉めて行っております。ご相談の際には必ず相談室を利用し、また、関係機関との情報伝達ではお名前を一部伏せ字にするなど配慮しております。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		個別療育が主の事業所のため、地域住民の方をご招待するような行事は行ってはおりません。市の療育支援ガイドブックに事業内容を載せ、少しでも事業内容が伝わるよう工夫しております。

非常時などの対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		各種マニュアルは今後さらに見やすい位置に置き換える予定です。避難に関する情報は、訓練に参加できなかった方にも常に LINE にて周知しております。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・毎月月末に実施している。	火災と地震による避難訓練を毎月交互に行っております。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	1		ご契約時に必ずお伺いし、把握するよう努めております。また、モニタリングでも必要に応じてお伺いしております。服薬につきましては、1時間の保護者様同伴の療育のため、基本的に携わってはおりません。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	・小麦アレルギーのお子様には「こむぎこ粘土」の使用はしないようにしている。	食物アレルギーに関しては、必ずご契約時に伺っておりますが、おやつを提供はない為、使用する教材に関してのみ注意しております。アレルギー性のものが含まれていないか確認し、必要に応じて代替教材に置き換えるよう、徹底しております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		ヒヤリハット事例集を元に起こり得る事案を想定して未然に防ぐためにカンファレンスし、対策をとっております。

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		虐待に関する外部研修は必ず受講し、内容を全員で共有し、常に全員で言動の振り返りを行っております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		ご契約時に、身体拘束は「どのような時に、どのようなやり方で、どれくらいの時間行うのか」を、動作を交えて丁寧にご説明しております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。